



9月定例県議会 一般質問にたちました

「獣害対策について」

Q シカの捕獲目標について。

A 琵琶湖環境部長 昨年度の捕獲実績は、目標8,500頭に対して9,600頭で、湖西地域が目標3,100頭に対して4,800頭と最も多く捕獲できています。今年度目標9,500頭は達成できない見込みですが、捕獲が進んでいない湖北湖東地域で生息数が増加しており、県全体の生息数も増加しております。



Q サル被害防止の基本的考え方について。



A 琵琶湖環境部長 集落への依存度を下げ、農作物残渣の処理、防護柵による防除等、集落でエサをとれない状況をつくるのが基本と考えます。対策を実施しても被害の軽減に結びつかない場合は、捕獲が必要と考えます。

Q 生息地管理・サル群れの現状について。

A 琵琶湖環境部長 サルの生息地は広葉樹がある森林が望ましいため、自然の力で天然林に戻す、森林整備を行う等、人とサルが一定の距離を保ち共存できる森林づくりが大事と考えます。集落方向に行動域を広げ、頭数も増加した群れが多数見られますが、徹底した追い払い等により被害を減少させた地域もあります。

Q 接近警報システムやモンキードッグの導入状況と今後の推進について。

A 農政水産部長 ニホンザルの生息群のうち、特定の群れの中のサルに発信器を装着し、群れの位置情報をメールで知らせる接近警報システムは、3市で導入され、本年度は高島市での導入が予定されています。モンキードッグについては、二市一町で導入され、

ニホンザルの出没日数が10まで減少するなど成果を上げています。

Q サルの第3次特定計画における個体数調整について。

A 琵琶湖環境部長 平成20年度に策定した第2次計画において、群れの半分または全頭の捕獲を可能としました。しかし、市町による個体数調整は、進んでいない状況で、第3次計画では市町が積極的に個体数調整に取り組める仕組みを考えます。

Q 積極的なサルの個体数調整の仕組みの内容について。

A 琵琶湖環境部長 平成20年度から本年度まで群れの分布調査を実施し、今後、個体数調整を予定される市町に情報を提供することで、調査の負担を軽減し、地元集落、市町、県が連携した個体数調整の実施につなげたいと考えます。



Q インシシの県内の生息頭数について。

A 琵琶湖環境部長 生息頭数の有効な調査方法が確立されておらず、個体数変動が大いことから、把握は難しいと考えます。環境省の調査では、25年前に比べ、生息範囲が広がっており、県内の生息数が増加している可能性があります。

Q インシシの特定鳥獣保護管理計画の策定について。

A 琵琶湖環境部長 計画を策定することにより科学的な知見による個体数調整が可能となり、狩猟期間の延長などの規制緩和が可能となります。毎年多くの被害が出ており、市町からも強い要望もあり早期に策定したいと考えます。

9月 補正予算 全体32億9,600万円

9月 高島市関連予算 (単位:千円)		
事業名	予算額	補助先等
周産期医療・がん検診・原子力災害対策	44,000	公立高島総合病院
災害拠点病院・耐震化施設整備	89,229	公立高島総合病院
介護施設等開設準備経費	36,000	介護老人保健施設
子育て支援整備事業	107,950	民間保育園
河川改良追加事業	25,000	安曇川：調査設計 八王子川：橋梁工他
小水力・太陽光発電施設の検討と概略設計	3,000	鴨川流域
その他 (治山事業・児童虐待防災等)	9,566	

会派活動報告

8/22 小水力発電に注目

嵐山保勝会は、渡月橋にかりを灯すため、桂川の落差(2m弱)を活かした自家発電に取り組みされています。維持管理は200名近い会員がボランティアで、毎朝、発電機口の柵にたまったゴミを清掃されます。発電量は、55kW(家2軒分)と、原発に変わる代替エネルギーと考えた場合、十分に賅える電力にはなりません。長く安全な暮らしを手に入れるためには、地産地消型の持続可能エネルギーとして、益々注目されていきます。



久御山ポンプ場地下発電機

8/29 国内最多の原発立地県

福井県日本原子力研究機構の高速増殖原型炉もんじゅを訪問。度重なる故障や福島県の原発事故を受け、長期間運転を停止。施設内は、被ばくを防ぐために、徹底した管理対策がとられていました。その後、13km離れた敦賀原子力防災センターへ。日常的に原子力災害が発生しないように、原子力施設の運転管理状況や原子力事業者の保安活動を監視し、万が一の事態に備えて、素早く的確に対処できるように体制をとられています。定期的な地元との意見交換など、地域に根付いた取り組みや、福島第一原子力発電所事故を踏まえた若狭地域の原発の安全管理と住民の安全対策、情報発信について伺いました。



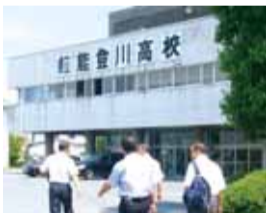
県民の皆さんと意見交換



琵琶湖環境科学研究センター

8/30 高校再編問題

高校再編計画の対象校となっている長浜北高校及び能登川高校、更には長浜市役所にて藤井市長を訪問。後刻、彦根市長とも面談し、地域の現状や率直な意向について伺う事ができました。



能登川高校



長浜北高校



長浜市役所



もんじゅ建屋



敦賀原子力防災センター



渡月橋発電測定看板



渡月橋小水力発電